台湾観光

日本語版
www.tva.org.tw
627 2023 JAN - FEB



台湾ランタンフェスティバル in 台北

九份再発見
路地の奥に続く旅

台湾全国ホテル案内
新しい宿に泊まろう！

新北市　淡水
レトロ建築散歩

禧榕軒大飯店
GRAND BANYAN HOTEL

台南の旅
禧榕軒

日本スタイルのシティホテル
大樹を望む景観レストラン

「体験、食采、美学」 台南駅前のモダンで新しいホテル





公式サイト　Facebook　Instagram　LINE

ご予約:06-2222188
台南市北区成功路 28 号 (台南駅より徒歩 5-7 分)

台湾観光

日本語版第627号

創刊期日：1967年8月25日
発刊期日：2023年1月1日
定価：NT$180

台湾ランタンフエスティバルには毎年一千万人以上の観衆が集まる。もともと新年の訪れを祝して各地方で行われていた民俗行事であるが、二十年ほど前から全国単位で開催されるようになり、いまや台湾を代表する国際観光イベントに発展した。正月行事だけにその年の干支がメインテーマとなる慣わしで、ウサギは台湾では「兔（トゥ）」と表記される。

文/柳本通彦

FEATURES

10 トラベル特集
台湾ランタンフェスティバル in 台北

22 特別企画
九份再発見
路地の奥に続く旅

26 特別企画
台湾全国ホテル案内
新しい宿に泊まろう！

30 グルメ特集
茶館
Teahouse in Taipei

34 街道散策
新北市　淡水
レトロ建築散歩



表紙デザイン／謝昀蓁



P.10



P.22



P.22



P.34

INFORMATION

02 新年のご挨拶ー交通部観光局局長
03 新年のご挨拶ー台湾観光協会会長
04 ITF特別報道
06 コラム―台湾・風景・詩
07 コラム―光を追う旅
08 コラム―FOUNTAIN新活水　第7回
33 コラム―太台本屋 tai-tai books　第1回
38 コラム―台灣之光　第55回
39 コラム―台湾行きっ戻りっ　第41回
40 数字でみる台湾観光情勢



P.22



P.26

会長・発行人/葉菊蘭
副会長/蘇成田、凌瓏、莊豐如
編集顧問/簡余晏、鐘逸寧、陳婷妤、張仲宇
発行所/財団法人台湾観光協会
住所/台北市忠孝東路4段285号8F-1
TEL：+886-2-2752-2898
FAX：+886-2-2752-7680
E-mail：yasir@tva.org.tw
http://www.tva.org.tw

台湾観光協会東京事務所
住所/日本国東京都港区西新橋1丁目5-8川手ビル3F
TEL：+81-3-3501-3591～2
FAX：+81-3-3501-3586
E-mail：tyo@go-taiwan.net

台湾観光協会大阪事務所
住所/日本国大阪市北区西天満4丁目14番3号6F
TEL：+81-6-6316-7491
FAX：+81-6-6316-7398
E-mail：osa@go-taiwan.net

制作/視野創異行銷股份有限公司
総經理/胡代葦
総編集/柳本通彦
編集統括/李建樹
取材編集/高田雅子、蘇宥勻、黎冠妤
特約作者/吉岡生信
翻訳者/杉本好美、森美恵子、松田良孝
デザイン/謝昀蓁、蔡緯儒
営業部/萬麗娟、呂麗君、劉家男
発行部/江秀明
財務部/蔡慧君

住所/台北市信義路4段265巷20弄5号
TEL：+886-2-2325-2323
FAX：+886-2-2701-5531
E-mail：editor@v-media.com.tw
http://www.v-media.com.tw
印刷/中茂分色製版印刷事業股份有限公司

中華民国交通部観光局
E-mail：tbroc@tbroc.gov.tw
http://taiwan.net.tw
本誌「台湾観光」は財団法人台湾観光協会が出版し版権を所有しています。転載の場合は事前に当協会へお問い合わせください。

広告專線：+886-2-2325-2323
中華郵政台北雜字第1709號執照登記為雜誌交寄

FACEBOOK
「台湾に行きたいわん！」

INSTAGRAM
「台湾に行きたいわん！」

WEBSITE
「台湾に行きたいわん！」
taiwanikitai.com

issuu
issuu.com/taiwankankou

台湾最新ホテル情報検索サイト
「台湾旅宿網」
taiwanstay.net.tw

2023

新年のご挨拶

交通部観光局局長　張錫聰

新年あけましておめでとうございます。パンデミックに別れを告げる新しい一年の始まりに際し、日本の友人の皆様にご挨拶申し上げます。

２０２２年10月より台湾・日本間の国境封鎖が解除され、双方の旅行会社は再び海外からの観光客を迎えることができるようになりました。台湾と日本の市民の間にも解除と共に相互訪問への期待が高まっており、徐々に回復している相互訪問人数からは、今後の台日双方の観光交流に対する確信と期待が感じられます。

距離も近い台湾と日本は互いにとってもっとも重要な観光市場であります。双方はこの間密接な協力関係を紡いで参りました。自動車免許の相互承認、イベントへの相互参加、修学旅行の受け入れ、鉄道友好協定・同名駅協定や姉妹地質公園・姉妹サイクリングロードの締結など、両国は地道に交流を積み重ね、それを土台に２０１９年には台日観光相互訪問者数で新記録を樹立しました。この二年余りは、新型コロナ感染症の拡大により双方の観光産業は大きな痛手を受けましたが、それにも抗して医療物資やワクチンを融通しあうなどの交流を通して、困難なときほど互いに支え合う友情の歴史と伝統を再確認することができました。

いま国境での感染症対策が緩和され、もはや台日間の往来を妨げるものはありません。台湾政府観光局として、海外からの旅行者に快適かつスピーディーな交通・観光環境を提供すべく、航空・船舶・鉄道にかかわる施設の整備・充実を図っているところです。さらに、台湾が誇ります国家風景区を六大国際魅力景区（東北角・北海岸・日月潭・阿里山・東海岸・澎湖）にランクアップさせるプロジェクトを進めています。台湾観光のいろいろな要素を生態・文化・美食およびロハスという四つのテーマに整合して多様なテーマを具えた観光スタイルを前面に押し出す戦略です。同時に国際情勢に鑑み、低炭素社会のシンボルともいえる鉄道と自転車を組み合わせた「両鉄観光」を推奨して参ります。台湾は、市民の高度な自律により厳しい防疫措置を講じてきました。日本の旅行者の皆様にもコロナ後のもっとも安心できる目的地に台湾を選んでいただけるものと信じております。

これからの一年、観光局は観光業者の先輩諸兄と一致協力し、万端の準備を整えて、一人ひとりのお客様を大切にお迎えしたいと存じます。ぜひ台湾の旅を通じて清新な感動を見つけてください。最後に、皆様がこの一年をつつがなく過ごされ、台湾の旅で幸せに満ちた新しい感動を得られることをお祈りして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

台湾観光協会会長　葉菊蘭

日本の読者の皆様、観光業界の友人の皆様、こんにちは！年頭にあたり、台湾観光業界を代表して台湾観光協会より謹んで新年のお慶びを申し上げます。

台日双方の観光業界にとって、２０２３年は期待と希望に満ちた年といえます。新型コロナウイルスの感染拡大以来、世界の観光業者は苦難の日々を過ごしてまいりました。ようやく昨年後半より、各国の水際対策が緩和され、海外からのツーリストも自由に往来できるようになりました。旅行社・交通・宿泊など各方面の観光業界も準備万端を整え、満を持して商機の到来、暖かい春の訪れを今か今かと待ち構えているところです。

台湾と日本は一貫して最良の観光パートナーでありました。２０１９年台日観光相互訪問者は７０７万人に達し、台湾を訪れた日本人は２１６万、日本を訪れた台湾人は４９１万に達しました。コロナの感染拡大により相互訪問は一時制限されましたが、両国の友情と交流が途切れることはなく、訪問する意欲が冷めることはありませんでした。民間の調査報告によりますと、台湾は感染収束後日本人がもっとも渡航したい目的地に挙げられており、もちろん台湾人旅行者にとっても日本がもっともあこがれの旅行先であることに変わりはありません。昨年日本で開催された「ツーリズムＥＸＰＯジャパン」での台湾館、あるいは台湾で開催された「ＩＴＦ台北国際トラベルフェア」の日本ゾーン、いずれにおいても台湾と日本の消費者の国境開放・観光復活への興奮と期待がうかがわれました。

２０２３年の年初にあたり、私どもは心から台湾と日本の間で、相互訪問者数が一日も早く往年の水準を回復することを期待してやみません。そして台日観光業がかつての華やかさを取り戻し、両国民の友情がいっそう深まっていくことを願っています。皆様、何卒宜しくお願い申し上げます。



2022

ウィズコロナで需要回復の兆し



台北国際トラベルフェア

秋の定番イベントとして定着している台湾最大の旅行の祭典「台北国際トラベルフェア」（Taipei ITF）。1987年に初めて開催され、当初は数万人程度だった入場者数も年々増加し、2008年には20万人を突破。2013年からは入場者数が毎年30万人を超えるようになり、アジア太平洋地区最大規模の旅行博を謳う規模にまで成長。2019年には入場者数も40万人に迫る勢いだったが、残念なことに2021年、2020年と新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響でその数も大幅に減少してしまった。

しかし2022年11月4日から11月7日の4日間にわたって、「台北南港エキシビションセンター」（台北南港展覧館）にて「持続可能な旅行」をテーマに開催された2022年の「台北国際トラベルフェア」では、政府が政策をウィズコロナに切り替え、水際対策を緩和したことなどから、海外旅行への期待感も高まったとみられ、入場者数が前年比で71・7％増の19万5366人にまで伸びた。

会場には例年通り「日本ゾーン」が設けられ、北は秋田から南は沖縄までの企業・団体に加え、台湾の提携先も併せて計55の団体・企業が出展。その数は2021年の24から倍増し、同ゾーンの広さもほぼ二倍となった。また、2021年、2020年は台湾で入国制限がかかっていたことなどから、日本からの出展者スタッフの派遣が難しく、多くがリモートでの出展となっていたが、2022年は出展者スタッフなど日本から多くの関係者が台湾を訪れ、会場に足を運ぶことができた。



文／吉岡桃太郎

アフターコロナに向けて

2022年の日本ゾーンには日本各地の観光関連団体のほか、JR東海グループ、近鉄グループホールディングス株式会社、西日本旅客鉄道株式会社（JR西日本）などの交通機関関連、WHGホテルズ、ロイヤルパークホテルズ、星野リゾートなどの宿泊施設関連、そして東京駅一番街、株式会社ルミネ、株式会社セブン&アイ・ホールディングスなどの商業施設関連の出展があり、アフターコロナに向け、それぞれの魅力を発信していた。

中でも特に目を引いたのが「日本酒蔵ツーリズム促進協議会」のブースだ。ここ数年、台湾では日本のお酒がより注目を集めるようになり、この二、三年の間に日本酒のソムリエとも言われる「唎酒師」の資格を取得した台湾人の数は100人を超えるといい、その人気ぶりがうかがえる。

また、公益財団法人東京観光財団のブースで行われていた「どんなテーマの旅行が好きか？」という質問の公開アンケートでは、グルメ、ショッピングの人気が高く、コロナ禍で日本へ旅行に行けなかった来場者からは「日本で本場のおいしいものを食べたい」「円安なので日本でいろんなものを買いたい」といった意見も聞かれた。

旅行商品の売れ行きも好調

会期前には出展者と旅行会社などの台湾企業との商談会が行われたが、「思った以上に食らいつきが良かった」「こんなにしゃべったのは久しぶり」という出展者からの声も聞かれ、台湾企業がコロナ禍でできなかった日本の観光関連情報のアップデートを行っただけでなく、実際に商談が進んだケースもあったという。

また、会期中は台湾の提携先の旅行会社が日本のパッケージツアー、鉄道会社の外国人向け周遊きっぷなどの旅行商品を会場で販売していたが、主催者の発表によると、会期中の会場全体でのクレジットカード決済による旅行関連商品の売り上げは1億元（約4・5億円）を超えたといい、コロナ禍で落ち込んでいた需要も徐々に回復してきているとみられる。

新型コロナウイルス感染症の影響で規制がかかっていた海外ツアーも台湾で解禁になり、今後は日台双方の往来が頻繁になってくると予測される。来年の春には多くの台湾人が花見に日本を訪れているかもしれない。



日本ゾーンを見学する蔡英文総統と来賓一行







鵝鑾鼻灯台

李敏勇

国境の南の地標
大航海時代の指針
それは船の道を照らすもの

シンボルとして演繹される
航海士兼案内人は
一本の筆のように太陽の下に聳え立つ

夜は灯台に明かりが灯り
時間の暗闇を通して
昼間が光り輝く風景になる

緑の草原と青い海の間
白い塔が船乗りの視線を集める
島国の歓呼に応えて



鵝鑾鼻燈塔

國境之南的地標
大航海時代的指針
為船隻照路

演繹成某種象徵
領航者導路人
一支筆矗立在艷陽下

入夜時燈塔亮起
經歷時間的黑暗
日間成為光耀的風景

在緑色草原與藍色海域之間
白色之塔招引水手的目光
回應島國的歡呼

李敏勇

台湾屏東人。1947 年に高雄で生まれ、大学時代は歴史を専攻。現在は台北市民。大学卒業後は文学界に身を投じ、詩誌「笠」の編集、「台湾文芸」社長、「台湾筆会」会長などを歴任。著書は「雲的語言」「暗房」「鎮魂歌」、中英対訳詩集「思慕與哀愁」などの作品のほか、散文、小説、文学評論、社会評論集など 90 冊あまりを数える。巫永福評論賞、吳濁流新詩賞、賴和文学賞、第 11 回国家文芸賞、2022 年第 4 回行政院文化賞受賞。



緑島巡礼

―自由の灯台　ダークツーリズム

夕闇が迫り、青空が赤みを帯び、星が煌めき始めるころ。ラグーンが灯台の白い影を映し出し、塔頂を灯火の光が一周するその瞬間。蒼穹の美景、果てしない海洋、そして広大な世界に、旅人は思わず息を呑む。

緑島西北の丘の上に聳え立つその灯台は、観光客に驚嘆をもたらす。灯台は東向きで、東北の牛頭山に面しており、山頂の草原は日の出と夕日の観賞に最適の場所だ。山のふもとの燕子洞は火山岩が作り出した自然の洞窟だが、洞窟内にはかつて「新生」と呼ばれた思想犯たちが思想改造の成果発表のためのリハーサルを行った手作りの土台と階段が残されている。台湾映画「流麻溝十五號」は、文化的・歴史遺産的な特徴を備えた、牛頭山と燕子洞の二か所の景勝地で撮影された。

灯台が見つめた自由な人権獲得の時代

緑島灯台は、１９３７年に米国籍の客船「プレジデント・フーバー号」の海難事故がきっかけとなり、米国赤十字社の寄付によって建設された。１９３９年に運用が開始され、第二次世界大戦時には米国軍機の攻撃を受け破損したが、１９４８年に修復され、運用が再開された。

牛頭山から望む灯台の美しい風景――三峰岩から公館鼻の一帯は、世界的な「ダークツーリズム」の記念地だ。１９９９年にアジア初の人権記念碑が完成し、２００２年には思想犯の監獄が外部に公開された。これらは２０１８年より国家人権博物館に登録され、自由で明るい時代の到来の証人となった。

歴史を照らし出すダークツーリズム映画

１９５１年、約千人の思想犯が台湾から船で緑島に到着し、サンパン船で灯台近くに上陸した。思想犯たちは村人の前を歩き、村人が分け与えた井戸水でのどの渇きを癒した。映画「流麻溝十五號」は、１９５３年に思想犯の一団が緑島に到着した場面から始まる。サンパン船に乗った女性たちが緑島を見つめ、その右前方に灯台が聳え立っている。緑島灯台は台湾の戦後史の重要な場面の目撃者となったのだ。

１９９０年５月、最後の思想犯が緑島を去った。そして東部海岸国家風景区が設立され、緑島の観光が発展した。島の灯台の「光」は毎晩欠かさず海を照らし続け、監獄跡は人権を追い求める自由の光の象徴となった。



映画「流麻溝十五號」ポスター
（提供／滾台灣電影公司）


公館村から望む灯台と台東海岸山脈（撮影／曹欽榮）

文・写真
曹欽榮
（台湾人権史研究者）

長年にわたり台湾の記念館の企画、設計、取材に参加し、ドキュメンタリー映画と 10 冊以上のインタビュー本の出版に協力。このうち「流麻溝十五號」が 2022 年 10 月末に映画化された。

まだまだある！失敗しない文化総会推薦お土産リスト

文／新活水編集部　撮影／Sia Sia Lee　撮影協力／張志偉

01 南蛮堂有限公司
長崎カステラ

長崎カステラ／ハチミツケーキを作っている店は多いが、色々と食べてみて結局は南蛮堂へ戻ってきた。商品は一種類のみ、サイズだけで商品区分されているところに「カステラひとすじ」という職人気質が感じられる。ハチミツケーキと呼ばれているが、原料は実は砂糖と小麦粉、卵と水あめ（麦芽糖）といたってシンプル。こんなストイックさが、何十年も勝ち続ける定番の強みだ。

02 福源
ピーナッツクリーム・エッグロール箱入り

台湾で最も有名なピーナツクリームといえばトップ3に入る新竹名産の福源に、ピーナッツクリームを使ったエッグロールが登場！あの独特のつぶつぶ感は無くなってはいるが、濃厚で芳醇なクリームの香りはまったく損なわれておらず、口当たりは滑らかでサクサクのエッグロールによりマッチしている。もしピーナッツクリーム好きなら食べるのが止められないこと請け合いの最強タッグだ。

03 佳徳糕餅
佳徳パイナップルケーキ

40年を超えて伝統的な美味しさを守り続ける台北の老舗の逸品はどこをとってもレベルが高い。サクサク香る外の皮は絶妙の食感で、パイナップルと冬瓜のジャムがブレンドされた餡はなめらかでしっとりしており、程よい甘さ。贈り物をしたいけれど何を贈ればよいかわからないときは、佳徳パイナップルケーキを選ぶといいだろう。日本の友人たちにも好評で、常に「帰国前の買い物リスト」に入っているほどだ。



05

『FOUNTAIN 新活水』の発行元である文化総会は、長年にわたり台湾文化のプロモーションに取り組む中で、台湾各地に多くの良きパートナーを得ただけでなく、文化交流を通して多くの外国人とも友人となった。このため、年末年始や現地を訪問した際に文化総会が受け取ったり、贈ったりしたお土産は多岐にわたる。今号は、編集部に李厚慶事務局長を招き、読者の皆様に事務局長おすすめのお土産リストをお届けする。

Shopping guide



01 04 唯豊肉鬆

特製肉でんぶ（粗びき）

バンカ（萬華）の地元では誰もが知る老舗。かつては肉鬆（ロウソン）を炒る香りが街中に漂い、毎年の大晦日が近づけば地元の人々がこぞって年越しのお土産を選びに訪れた。唯豊が50年守り続けているのは「三斤の豚肉が一斤の肉鬆になるまで炒るべし」。口に入れるとサクッと香ばしい塩気が広がる伝統的な味わいで、更に細かくひいた「ベビー・ロウソン」なら、子供やお年寄りも一緒に楽しめる。

◆ 価格：330 元（3 号／幅 10.8 センチ）
◆ 住所：台北市萬華區開封街二段 48 號



02 05 祝福商店

苔ピーナッツ箱入り

「苔ピーナッツ」は、かつて彰化にあった「祝福レストラン」の宴席のおつまみだった。これを発明した蔡添寿さんは蒋経国元総統の別荘「八卦山行館」を取り仕切っていたシェフで、行館閉館後に八卦山のふもとでレストランを開いた。あるとき李登輝元総統が彰化へ視察に訪れた際、祝福レストランで食べた苔ピーナッツを絶賛。それ以来ひっきりなしに注文を受けるので、オーナーはレストランをやめてピーナッツ販売に専念することにした。大粒の落花生を選んで皮をむき、水に浸し、油で揚げた後に海苔・砂糖・塩を加えてかき混ぜた苔ピーナッツは何ともいえない芳香と塩気の中にほんのり甘みが感じられ、忘れがたい味わいだ。

◆ 価格：359 元（箱入り 16 個／オンライン購入価格）
◆ 住所：新竹市東區東大路一段 155 號



03

◆ 価格：192 元（箱入り 6 個）
◆ 住所：台北市松山區南京東路五段 88 號



04

◆ 価格：100 元（サイズ小）
◆ 住所：台北市萬華區昆明街 226 號



◆ 価格：450 元（箱入り 12 個）
◆ 住所：彰化縣彰化市陳稜路 1 號

雑誌『FOUNTAIN 新活水』とは

『FOUNTAIN 新活水』の毎号のテーマは社会の脈動と密接に関連しています。文化的観点から、地域・境界・世代を超えて交差する精神を強調し、重要な問題や現象の詳細な討論と発掘を行っています。鮮烈な視覚的美学が魅力の雑誌は文化的対話を構築するための重要なプラットフォームになっています。

台北



第34回を迎える2023年の台湾ランタンフェスティバルの会場は台北。23年ぶりに台北へ戻ってきた今回のテーマは「光源台北 LIGHT UP THE FUTURE」。メインとなる会場は東区から信義区にかけてのエリア。このほか、松山・信義・大安・中山・中正・大同・萬華・文山・南港・内湖・士林・北投の12の行政区に会場が設けられ、台北の街全体が華やかなランタンの灯で彩られる。昼間の観光と組み合わせて、台北の街を遊びつくそう！

台湾ランタンフェスティバル

2023台湾ランタンフェスティバル

会場は「未来展区」「中央展区」「光展区」「源展区」の4大展区。総面積168haにおよぶ広大な敷地にメインランタン1台とサブランタン6台をはじめ300点以上の作品を展示する。メインランタンが置かれるのは国父紀念館の「中央展区」。クラシックなメインランタンに3台のサブランタンと多彩なテーマのランタンエリアを配置し、伝統的なランタンアートと現代技術を駆使した光のアートでランタンフェスティバルを盛り上げる。

公式サイト：tw-light.taipei

会場：信義商圏、国父紀念館、松山文創園区、東区商圏など
会期：2023年2月5日～2月19日（2月1日～4日はプレオープン）
時間：イベント開催は月曜-木曜14:00-22:00、金曜-日曜10:00-22:00を予定
　　各会場のランタン点灯は17:00-20:00を予定
交通：MRT各駅から徒歩で各スポットへ



メイン会場

今回のランタンフェスティバルのメインエリアは台北市東部の4会場。信義商圏・台北101・四四南村などが集まる繁華街に展開する「未来展区」、国父紀念館の「中央展区」、東区商圏を会場にした「光展区」、文化施設の松山文創園区と台北ドームの台北文化体育園区からなる「源展区」だ。それぞれの会場へは徒歩で移動できる。いつもより華やいだ街の雰囲気を満喫しよう。



未来展区

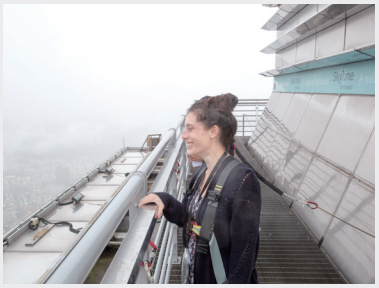
台北101

高さ508m・地上101階の「台北101」は台湾最高層のビル。街中からその姿を目にすることができる台北のランドマークとして親しまれている。地下1階から地上6階まではショッピングモール、85階と86階は高層階レストラン、88階から101階が展望台となっており、高さ382m・地上89階の屋内展望台までは5階の受付階から高速エレベーターに乗ってわずか37秒で到着できる。さらに高さ390mの91階には屋外展望台も。また高さ448m・101階の特別フロア「SKYLINE460」の屋外デッキでは、安全器具を身に着けてスリリングな空中散歩が体験できる。それぞれの展望台から見下ろす台北の大パノラマの眺望は圧巻！

台北市信義區市府路45號
02-8101-8800
11:00-19:00、土曜・日曜・祝日 10:00-19:00
一般（88F、89F、91F）：NT$600、
SKYLINE460（88F、89F、91F、101F）：NT$3000
www.taipei-101.com.tw/ja
MRT台北101／世貿駅下車すぐ

台北市内の大パノラマ





SKYLINE460



89階屋内展望台

信義商圏

MRT台北101／世貿駅からMRT市政府駅の間に広がる繁華街。台北101をはじめとした十数軒のデパート、映画館、レストラン、高級ホテルが立ち並び、台北のトレンドの発信地となっている。休日にはイベントが行われることが多く、パフォーマーやバンドによる大道芸やライブなどの路上パフォーマンスを見ることもできる。また台北国際会議中心や台北世界貿易中心など世界貿易と商業の重要な施設も密集していることから、「台北のマンハッタン」とも呼ばれている。



台北市信義區
MRT台北101／世貿駅、MRT市政府駅下車すぐ





四四南村

建物の前身は、第二次大戦後に中国大陸から台湾に渡ってきた軍人とその家族ために、旧日本軍の倉庫を改造して整備された「眷村」と呼ばれる軍人村。現存する4棟がリノベーションを経て、当時の暮らしを紹介する「眷村展示館」やギャラリー、ショップ、カフェなどに再利用されている。中央の広場では休日に屋外マーケットなどのイベントが開催されることも。レトロな民家の建物とモダンな台北101が一度に撮影できる人気撮影スポットだ。









- 台北市信義區松勤街 50 號、52 號、54 號、56 號
- 9:00-17:00、月曜・祝日休館
- 無料
- MRT 台北 101 ／世貿駅から徒歩 4 分





幾米公車

台湾の著名絵本作家の幾米（ジミー）とコラボレーションしたアートバス。幾米の絵本『月亮忘記了（お月さま忘れちゃった）』の世界を表現したバスのなかには、熊の運転手、魔法の本、地球を抱いた男の子などのオブジェが置かれ、可愛い遊び心でいっぱい。夜間にはバスの上の子供が掲げる月が明るく輝き、より幻想的な世界が浮かび上がる。





- 台北市信義區信義路五段 100 號
- 9:00-21:00、月曜定休
- 入場無料
- MRT 台北 101 ／世貿駅から徒歩 3 分

中央展区







国父紀念館

「中華民国の国父」と呼ばれる革命家・孫文の業績を称えるため建設された記念館。入口正面の大ホールに鎮座する高さ8・9mの孫文の銅像前で毎時0分に行われる衛兵交代式でも有名な観光スポットだ。中国寺院風建築の館内にある東西の展覧室では、建国宣言書などの資料や著作、遺品など、孫文の足跡を辿る文物を見学できる。広大な敷地内には四季の花々が咲く庭園と美しい人工湖もあり、散策や運動を楽しむ市民の憩いの場となっている。

台北市信義區仁愛路四段 505 號
☎ 02-2758-8008
9:00-18:00、旧暦大晦日・旧暦元旦・メンテナンス日休館
無料（一部展覧会・公演は有料）
www.yatsen.gov.tw
MRT 国父紀念館駅下車すぐ





光復市場は1階建てのこじんまりとした市場

光復市場

台北101からわずか徒歩10分あまりの伝統市場。設備は近代化されており、清潔な環境で肉や野菜などの生鮮食品が販売されている。市場の周囲にも生鮮食品や雑貨を売る店が集まっており、午前中を中心に買い出しに訪れる地元の人たちでにぎわう。市場前の路地には、小麦粉の皮で豆腐・キャベツ・春雨・炒り卵を包んだ「豆腐捲」や、ニラ・春雨・炒り卵を包んだ「韭菜盒」、カキと豚の大腸入りの煮込み素麺「蚵仔大腸麵線」、台湾風さつま揚げ「甜不辣」など、朝食にぴったりのご当地グルメも多い。大都会の真ん中で下町風情を満喫しよう！

光復市場
台北市信義區光復南路 419 巷 146 號
7:00-14:00、月曜定休
MRT 台北 101 ／世貿駅・MRT 国父紀念館駅から徒歩 10 分

周家豆腐捲
台北市信義區光復南路 419 巷 106 號
6:00-15:00

「松」蚵仔麵線
台北市信義區光復南路 419 巷 142 號
6:00-13:00



豆腐捲

韭菜盒



蚵仔大腸麵線



甜不辣

光展区



台北市大安區
MRT 忠孝復興駅・MRT 忠孝敦化駅・MRT 国父紀念館駅下車すぐ



東区商圏

「東区商圏」は台北市東部の繁華街で、主なエリアは東は光復南路、西は復興南路、北は市民大道、南は仁愛路の範囲内。中心を東西に走る忠孝東路は、デパートやグローバルブランドのショップ、オフィスビルが軒を連ね、華やかな雰囲気。路地に入ると個性的でお洒落なショップやカフェ、レストランのほかに、庶民派食堂もあり、必ず満足できる店を見つけることができるだろう。高級志向から庶民派まで、その日の気分と予算に応じて多彩なショッピングとグルメが楽しめる街だ。



源展区





松山文創園区

建物の前身は1937年建設の「台湾総督府専売局松山煙草工場」。台湾初の煙草専門工場として台湾における近代工場の先駆けでもあった。建物は水平視線を強調した日本の初期モダニズム建築で、シンプルで典雅な美しさを持つ。戦後は国民党政府に接収され、1998年まで紙巻煙草や葉巻などの煙草製品の製造を行っていた。煙草工場、ボイラー室、倉庫の建物が残されており、貴重な近代産業遺産として2001年に台北市の古跡となった。現在はアート・文化イベントを開催する展示館、ショップ、レストランなどに活用されている。敷地内に新設されたビルには有名書店の「誠品書店」やホテルも入居しており、園区全体がクリエイティブな複合施設となっている。園内の庭園や生態景観池は緑にあふれており、散策も楽しい。



クリエイティブグッズショップ





誠品書店

松山文創園区

台北市信義區光復南路 133 號　☎ 02-2765-1388　屋外 24 時間、室内 9:00-18:00
無料（展示館はイベントにより有料）　www.songshanculturalpark.org
MRT 国父紀念館駅から徒歩 5 分



掘りごたつのような閲覧席（不只是図書館）



元従業員浴場の閲覧室（不只是図書館）

「不只是図書館（図書館だけではない）」は、煙草工場の従業員浴場跡を利用した私設図書館。半円状の浴槽が残る閲覧室は図書館を代表する空間だ。館内では台湾内外の100種類以上の雑誌をはじめ、2万冊におよぶ書籍を閲覧できる。蔵書のジャンルは建築、工業、デザイン、ファッション、アートなどが中心。閲覧席はWi-Fiやコンセントが利用できるので、自習やリモートワークのために利用する人も。天気が良い日は小さな中庭に出て本を読んでも気持ちがいい。好みの閲覧席で本に囲まれた癒しの時間を過ごそう。



晴れた日は中庭にも出られる（不只是図書館）

不只是図書館
松山文創園区（製菸工廠 22）　☎ 02-2745-8199
10:00-18:00（最終入場 17:00）、月曜休館　facebook.com/NotJustLibrary
大人 NT$100、学生 NT$50、7 歳以下の児童（要付き添い）・障がい者（要付き添い）65 歳以上のシルバー無料
※入館時はスリッパに履き替え　※営業時間の変更・臨時休館は facebook ページで告知
※当日に限り入場券で「不只是図書館」「台湾設計館」への出入り自由

敷地東側の池のそばに佇む「豆留文青」は、煙草工場の「鍋爐房（ボイラー室）」だった建物。空に向かって高々とそびえる煙突に往時の様子が垣間見える。店内にコーヒー焙煎機を備えた本格カフェで、こだわりコーヒー、台湾茶のほか、コーヒーや台湾茶を使ったドリンクやカクテルも提供している。ドリンクは、烏龍茶と桃の香りが重なり合う爽やかなドリンク「水蜜桃氣泡烏龍」、阿里山産コーヒー豆を使ったコーヒーリキュールと烏龍茶を合わせたカクテル「阿里山咖啡烏龍茶酒」などが人気。スイーツは葉巻型のチーズケーキを添えた、甘さ控えめのティラミス「松蔭招牌雪茄」がおすすめ。サンドイッチなど軽食メニューが豊富なのもうれしい。毎日18時30分から始まる店舗のライトアップも必見！



幻想的な夜間ライトアップ（写真／豆留文青）

豆留文青 Cama Coffee Roasters
松山文創園区（生態景観池区 10）　☎ 02-2765-1008
10:00-21:00、金曜 - 日曜 9:30-22:00　facebook.com/sy.camacoffeeroasters
ミニマムチャージ：1 人 NT$250、席利用：平日 2 時間・休日 1.5 時間
※ライトアップは 18:30 から閉店まで





松蔭招牌雪茄



阿里山咖啡烏龍茶酒・水蜜桃氣泡烏龍



店内ではコーヒー豆やグッズの販売も行っている（豆留文青）



行政区4会場

台北市の行政区に展開される12会場のうち、松山・士林・中山・大同の4会場は観光スポットや夜市などの見どころが多い人気エリア。メインエリアから足をのばして、個性的な台北の街を歩いてみよう！

松山燈区



松山慈祐宮前広場

毎年ランタンフェスティバルの季節を迎えると、MRT松山駅5番出口と松山慈祐宮の間の前の広場は、伝統的な動物や神獣をかたどったランタンが並び、華やかな雰囲気に包まれる。松山慈祐宮は1753年に創建されて以来、250年あまりにわたり地元住民の信仰を集めてきた。主神は海の女神・媽祖だが、観音菩薩などの仏教の仏も祀っている。豪華絢爛で荘厳な廟建築のほか、乾隆帝から下賜された「利濟參天」の扁額や清代の石獅などの歴史的文物も必見の価値あり。

台北市松山區八德路四段761號
05:30-22:30
MRT 松山駅下車すぐ



蚵仔麵線、油飯、肉羹



中華風廟をかたどったの煌びやかな門が目印

饒河街観光夜市
台北市松山區饒河街　17:00-23:00 ごろ
MRT 松山駅下車すぐ

福州世祖胡椒餅
台北市松山區饒河街249號前（道路中央）
15:30-23:00、金曜・土曜 15:30-23:30
※天候不良・売切れの際は閉店

東発号蚵仔麵線
台北市松山區饒河街143號
8:30-24:00
ミニマムチャージ：イートインは1人1品

加賀鮕魚大王
台北市松山區饒河街120號
17:15–23:00
bit.ly/3VzSNaK
※臨時休業はfacebookページで告知



現燙鮕魚

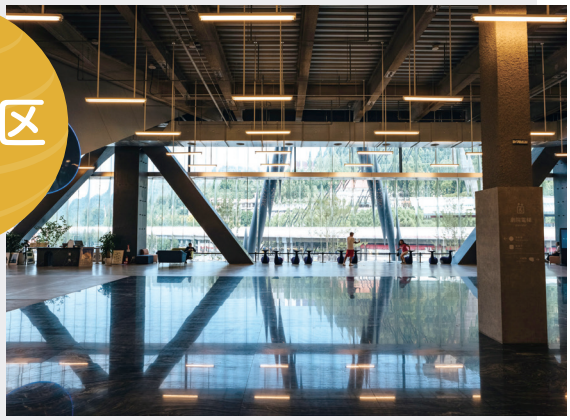
饒河街観光夜市

慈祐宮門前の有名夜市。饒河街の通りが丸ごと夜市になっており、夕方になると道路両側の店舗のほか、道路中央に屋台が立ち並び、観光客や仕事帰りの市民でにぎわう。一番の名物グルメは、「福州世祖胡椒餅」の胡椒で味付けした豚肉と青ネギの餡をパイ風の皮で包み、窯に貼り付けて焼き上げた「胡椒餅」。2022年度ミシュランガイド「ミシュランプレート」に選出された「東発号蚵仔麵線」のカキと豚の大腸入り煮込み素麺「蚵仔麵線」、肉団子入りのあんかけスープ「肉羹」、もっちりおこわ「油飯」は冬にぴったり。「加賀鮕魚大王」の干しスルメイカを水で戻して沙茶醤（海鮮ソース）と九層塔（台湾バジル）と煮込んだぷりぷり食感の「現燙鮕魚」もぜひ味わいたい。



胡椒餅

士林燈区

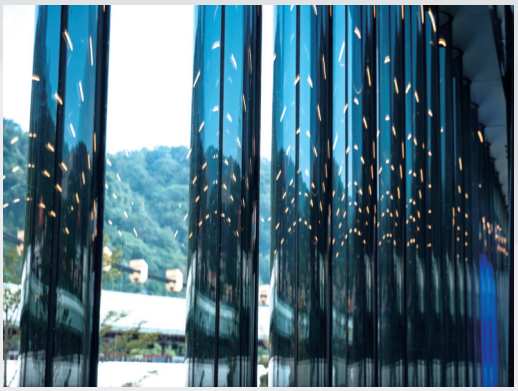


台北表演芸術中心

士林区の会場となる「台北表演芸術中心（台北パフォーミングアーツセンター）」は、2022年7月にグランドオープンを迎えた文化施設。透明なガラス張りのボックスにシルバーの球体が差し込まれたユニークな外観のモダン建築で、世界的建築家レム・コールハース（OMA）が設計を担当した。館内には3つの劇場があり、建物全体を貫く回廊「参観回路（Public Looooooop）」では、窓から劇場内の様子やテクニカルスペースの見学が可能。1階と2階のロビーは公演がない日も一般開放しているので、散策中に立ち寄って最先端のデザイン美にふれるのもおすすめ。



台北市士林區劍潭路 1 號　12:00-21:00
www.tpac-taipei.org　MRT 劍潭駅下車すぐ



士林観光夜市

外国人観光客が必ず訪れると言っていいほど有名な台北市最大の夜市。美食街に屋台グルメが集まる「士林市場」を中心に、周辺一帯にご当地グルメやファッション雑貨、ゲームなどの店があふれ、夜中まで人通りが絶えない。顔の大きさほどもある巨大フライドチキン「豪大大雞排」はテレビやガイドブックで度々紹介される士林名物。このほか、檸檬風味の胡麻だれの和え麺が絶品と評判の「好朋友涼麺」や、鉄鍋で蒸し焼きにした生煎包（ミニ肉まん）を求めて平日も行列ができる「鍾記原上海生煎包」など、2022年版ミシュランガイド「ビブグルマン」に選出された人気店のグルメも必食！



士林市場
台北市士林區基河路 101 號
16:00-24:00 ごろ
MRT 劍潭駅から徒歩 5 分

好朋友涼麺
台北市士林區大南路 31 號
16:30-23:30、木曜定休

豪大大雞排
台北市士林區基河路 115 號
15:30-24:00

鍾記原上海生煎包
台北市士林區小東街 38 號
14:30-21:00



豪大大雞排





好朋友涼麺

中山燈区



心中山線形公園

2019年にMRT中山駅から雙連駅間の地上部にオープンした「心中山線形公園」は、クリスマスイルミネーションの会場としても有名だ。ランタンフェスティバル期間中は、公園全体が煌めくイルミネーションとランタンで埋め尽くされる。中山から雙連までは、ゆっくり歩いても10分ほど。色とりどりのランタンを眺めながら、ロマンチックな夜の散歩を満喫しよう。





台北市中山區（MRT 中山駅―雙連駅間地上部）
MRT 中山駅・MRT 雙連駅下車すぐ

赤峰街

「赤峰街」は心中山線形公園と並走する小道。デパートが立ち並ぶMRT中山駅西側の南京西路から民生西路を結んでおり、路地のなかには古くから続く町工場や民家が並んでいる。近年は古い建物をリノベーションした雑貨店や古着店など、個性的なショップが続々と誕生しており、写真に「映える」スポットとして若い人の人気を集めている。レトロでお洒落なカフェも多く、路地散策中に好みのカフェを見つけるのも楽しみだ。気になる店をのぞきながら、昭和な雰囲気が残る下町の路地をくまなく歩いてみたい。









台北市大同區赤峰街
MRT 中山駅・MRT 雙連駅下車すぐ

大同燈区



永楽広場

大同区の会場となる「永楽広場」は、迪化街のランドマークのひとつである「永楽市場」前の広場。永楽市場は1階が生鮮食品の売り場や食堂が並ぶ伝統市場で、2階から4階が布地や洋裁小物を扱う布市場となっている。布市場では洋服のオーダーメイドも可能だ。1階では海鮮食堂などが人気だが、昼頃までの営業の店が多いので食事が目的なら昼頃までにでかけよう。午後は迪化街を散策して、夕方のランタンの点灯を待ちたい。



永楽市場
台北市大同區迪化街一段 21 號　1 階 7:00-20:00、月曜休市／2-4 階 10:00-18:00、日曜休市
MRT 北門駅から徒歩 7 分

迪化街

永楽広場が位置する迪化街は、清代末期から淡水河の水運で発展し、日本時代に繁栄を極めた街。現在も、アーケードでつながった「街屋」と呼ばれる赤レンガ造りの商家の建物が数多く残っている。乾物、漢方薬、布地を扱う老舗問屋が集まっており、カラスミやドライフルーツ、台湾茶、チャイナテイストの雑貨、カラフルなナイロンメッシュ製買物バッグ「茄芷袋」などお土産探しも楽しい街だ。永楽広場に隣接する「霞海城隍廟」は大稲埕の信仰の中心。土地を守る城隍爺のほかに縁結びをつかさどる月下老人が有名で、数多くの独身の男女が良縁を求めて参拝に訪れるパワースポット。散策中の食事は永楽市場の食堂や、市場前の「民樂旗魚米粉」ではカジキマグロ入り汁ビーフン「旗魚米粉」など、ご当地グルメを楽しもう。



旗魚米粉



迪化街
台北市大同區迪化街一段
MRT 北門駅から徒歩 6 分

霞海城隍廟
台北市大同區迪化街一段 61 號

民楽旗魚米粉
台北市大同區民樂街 3 號



迪化街の乾物問屋



霞海城隍廟



茄芷袋はお土産にぴったり！

九份 再発見

路地の奥に続く旅



台北から鉄道やバスを乗り継いで約1時間。山の斜面に広がる小さな街「九份」は、19世紀末に金鉱が発見され、20世紀半ばまで金の採掘で繁栄を極めた街だ。1970年代に鉱山が閉山すると街は衰退したが、1989年公開の映画『悲情城市』の舞台となったことで、九份は再び観光地として注目を集めるようになった。2000年代には人気アニメ映画『千と千尋の神隠し』の風景を思わせると日本人観光客の人気も集めるように。階段に赤いランタン並ぶノスタルジックな街の路地の奥まで歩いてみよう。

企画構成／高田雅子 文／高田雅子 写真／陳正國



石壁と木の梁が印象的な店内

Google Map



1 MRT 府中駅・西門駅・北門駅から台北客運バス 965 で「九份老街」下車、徒歩で各スポットへ
2 MRT 忠孝復興駅から基隆客運バス 1062 で「九份老街」下車、徒歩で各スポットへ
3 台湾鉄道瑞芳駅から台湾好行バス・黄金福隆線で「九份」下車、徒歩で各スポットへ
※ 基山街の 711 わきから老街へ→散策後は豎崎路階段下のバス停「九份派出所」からバスで台北方向へ

台北客運 965
bit.ly/3Cux9Mu

基隆客運 1602
bit.ly/3ROheyg

台湾好行
taiwantrip.com.tw

潯藝洋行

お茶の香り漂う古民家カフェ

観光客でにぎわう基山街の商店街「九份老街」から一段下がった輕便路は、人通りが少なく静かな路地。かつて輕便鉄道の線路が走っていた道は平坦で歩きやすく、老街とはまた違った路地散歩が楽しめる。輕便路に面した「潯藝洋行」は、築100年あまりの建物をリノベーションした古民家カフェ。食事メニューは牛肉の赤ワイン煮「紅酒牛肉」やベーグルのブランチが人気で、「鐵觀音」や「凍頂烏龍茶」をはじめとした自家製の台湾茶のほか、コーヒーなどのドリンクも多彩。デザートには特製台湾茶ソフトクリームがおすすめ。美味しい台湾茶と緩やかな時間に浸りたい。



台湾茶ソフトクリーム（鐵觀音）



紅酒牛肉のセット



ベーグルのブランチセット

新北市瑞芳區輕便路 226 號　☎ 02-2406-1312
月曜 10:00-17:00、木曜 11:00-21:00、
金曜 - 日曜 10:00-21:00、火曜・水曜定休
ミニマムチャージ：1 人 NT$90
facebook.com/dayeatteahouse



自家製の茶葉はお土産にぴったり！



鐵觀音茶

九份老街

必食グルメを食べ歩き

老街散策の楽しみといえば、ご当地グルメの食べ歩き。魚のすり身団子・豚肉餡入り団子・イカ団子・肉団子入りのスープ「綜合魚丸湯」や、紅麹で味付けした豚肉と筍をでんぷんの皮で包み揚げ焼きした「紅糟肉圓」は定番の軽食。柔らかい草餅で切り干し大根炒めを包んだ「菜圃米」やフライドオニオンが香ばしいタロイモ餅「芋粿」など、日本にはない珍しい味にもチャレンジしたい。たくさん歩いたら、弾力のある芋団子と緑豆、小豆を合わせたかき氷「芋圓綜合冰」を食べて休憩しよう！



石畳が敷かれた風情ある老街に軒を連ねる土産物屋



紅糟肉圓（金枝紅糟肉圓）



芋圓綜合冰は温かいお汁粉仕立てもGood！（九份阿柑姨芋圓）



綜合魚丸湯（張記伝統魚丸）



菜圃米（阿蘭草仔粿）

芋粿（阿蘭草仔粿）

張記伝統魚丸
新北市瑞芳區基山街 25 號
10:00-19:00

金枝紅糟肉圓
新北市瑞芳區基山街 112 號
9:00-19:30、土曜・日曜 9:00-21:00

阿蘭草仔粿
新北市瑞芳區基山街 90 號
9:00-18:00、土曜・日曜 9:00-20:30

阿柑姨芋圓
新北市瑞芳區豎崎路 5 號
9:00-20:00、土曜・日曜 9:00-21:00



鉱石展示室



坑道再現コーナー

九份金礦博物館

金鉱と街の歴史を訪ねる

1991年に元金鉱労働者の曾水池氏が、金鉱の歴史を伝えるべく自宅を改装して開いた私設博物館。博物館入口わきの展示室では、鉱夫が実際に鉱山で使用していた道具や、鉱山で掘り出した様々な種類の鉱石を紹介。実物の軽便鉄道のレールの一部とトロッコを使った坑道再現コーナーでは、鉱夫に扮しての記念撮影が人気だ。上階の実演コーナーでは、金鉱石を砕いてすり潰し水銀と合わせた合金を作り、加熱して金を取り出す混汞法（アマルガム法）と呼ばれる製錬作業の実演と解説を行っている。時間があれば、周辺スポットを巡るガイドツアーに参加してみよう。博物館の入口に面している軽便路は、かつて瑞芳、九份、金瓜石を結んでいた軽便鉄道「瑞芳軽鉄金瓜石線」の線路跡。ガイドツアーでは軽便路を歩き、五番坑道跡や古民家などを巡りながら、鉱山と街の歴史を学ぶ。ガイドコースで出逢う「九份」の風景は、観光客でにぎわう老街や竪崎路とは全く異なる表情を見せる。ガイドツアーで街を歩けば、より九份への理解が深まり旅が趣深いものになるだろう。



ツルハシと金鉱坑道内の照明に使用されたアセチレン灯



大粒の金が見える金鉱石

五番坑道跡





金鉱石製錬作業実演コーナーでの砂金採り実演

新北市瑞芳區頌德里石碑巷 66 號
☎ 02-2496-6379　16:00-24:00（予約制）
大人 NT$100、学生 NT$80、敬老・児童・障がい者 NT$60（入館料に館内ガイド料込）
jioufen-goldore-museum.mystrikingly.com
※ 昼間・夜間の各ガイドツアーの内容と料金は公式サイトを参照
※ 予約・問い合わせは電話、メール、Facebook ページから（中国語・英語）
※ 入口は昇平戯院わきから西に 200m の輕便路の看板が目印





定番撮影スポットの阿妹茶館

豎崎路
赤いランタンが灯る石段

豎崎路は山の斜面に沿って九份の街を南北に貫く石段の小道。傾斜の急な階段の両脇に並ぶ、レトロな茶芸館や土産物屋の軒先に赤いランタンが吊るされた、郷愁溢れる光景で知られる九份のメインストリートだ。斜面に位置する茶芸館や食堂は眺望がすばらしく、昼間は手前に鶏籠山、遠く海上に浮かぶ離島の基隆嶼まで見渡せる。夕方になるとランタンに灯りがともり、石段全体が幻想的な雰囲気に包まれる。



昇平戲院
街の栄枯盛衰を見守ってきた劇場

石段の中ほど、豎崎路と輕便路が交差する広場にたつ劇場。この場所に前身となる「昇平座」が建てられたのは1934年（昭和9年）のこと。金の採掘で繁栄を極めた九份にふさわしい、2階建ての最新式の設備を持つ劇場で、毎日のように映画や新劇、歌仔戲（台湾オペラ）などが上演され、瑞芳や金瓜石からも輕便鉄道で観客が押し寄せ立ち見も出る盛況ぶりだったという。1971年に鉱山が閉山されると九份の人口は減少し、輕便鉄道のレールも撤去されると街全体が衰退。劇場も1986年に閉鎖され長らく放置されていたが、2010年に修復工事を経て多目的空間として再生した。1960年代の劇場の様子を再現しており、九份や金瓜石に関係する映像作品の上映も行っている。レトロな切符売り場や売店、華麗な劇場空間は撮影スポットとしても人気。







新北市瑞芳區輕便路 137 號
9:30-17:00、土曜・日曜 9:30-18:00、毎月第一月曜（祝日の場合は開館）・旧暦大晦日・旧暦元旦休館
無料　bit.ly/3Tu9yTx

台湾全国ホテル案内

新しい宿に泊まろう！

台湾では外国人観光客を迎えられなかった 2020 年から 2022 年の間にも、新しいホテルが全国に続々とオープンしている。安心の日系ホテルから、世界の高級ホテルブランド、温泉ホテルまで、旅を楽しくしてくれる厳選ホテルを大特集！









台北
2021.09
開業

格拉斯麗台北飯店
Hotel Gracery Taipei

MRT忠孝新生駅から徒歩１分の日系ホテル。台北駅や日本企業のオフィスや商業施設が集まる中山エリアにもほど近く、ビジネスにも観光にも便利な立地だ。全248室の客室は各室とも 25 ㎡以上と広々しており、2人で利用してもゆったりと寛げる。浴槽を完備した日本式の「独立型バスルーム」が全室に導入されているのも日本人にはうれしいポイントだ。一般客室のほか、長期滞在型ルームやユニバーサルルーム、東急ハンズなどの日系企業とコラボした可愛らしいコンセプトルームもあり、同行者や旅の目的に合わせて客室を選択できる。

台北市中正區忠孝東路二段 89 號　☎ 02-2322-0111
gracery.com/taipei

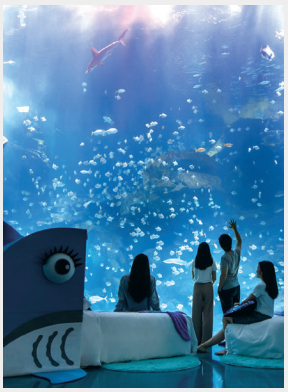
桃園
2022.08
開業

COZZI Blu和逸飯店・桃園館
COZZI Blu Taoyuan

2022年8月に開幕したばかりの「海洋」がテーマのホテル。高速鉄道桃園駅前の繁華街に位置しており、桃園国際空港まではMRTでわずか5駅とアクセス至便。海辺の市場をイメージしたビュッフェレストラン「逸・市集」、クルーズ船のような内装の「Blu Bar」、海の青の絨毯と舷窓を模した海洋アートが美しい客室など、ホテル全体に満ちた海の雰囲気が心地よい。横浜・八景島シーパラダイスが運営する水族館「Xpark」とコラボした宿泊プランでは夜の水族館での宿泊も可能。やすらぎに満ちた「陸のクルーズ船」で、ロマンティックな時間を過ごしたい。

桃園市中壢區春德路 101 號　☎ 02-7706-3603
hotelcozzi.com/ja













台南
2022.11
開業

禧榕軒大飯店
Grand Banyan Hotel

台南駅前に誕生した新たなランドマーク。台湾鉄道台南駅まで徒歩7分、赤崁楼など台南の有名な観光スポットの多くが徒歩圏内というロケーションは、台南観光の拠点として理想的だ。ホテル名の由来は敷地内に自生する樹齢100年のガジュマルの樹。時を超えた豊かな生命力に満ちたガジュマルの樹のように、地元に根を下ろした堅実なホテル運営とサービスでゲストを迎えてくれるホテルだ。全180室の客室は、柔らかな暖色のインテリアに木製家具を配した温もりのある空間。屋上階の開放感あふれるルーフトッププールからは安平の海岸線が遠望でき、美しい夕陽も観賞できる。ライトアップされる夜間もムード満点だ。オールデイダイニングのビュッフェレストラン「榕廷」では、「旬のものを食べる」という日本の伝統を取り入れ、四季折々の旬の食材をふんだんに使用した和洋中のバラエティに富んだ料理を提供。朝食では虱目魚肉燥飯（サバヒーのそぼろ飯）、牛肉湯（牛肉スープ）など台南名物も楽しめる。「ベジタリアンエリア」「ファミリーエリア」も用意し、多様なゲストの要望にも対応している。喧騒に満ちた都会の中で自然と調和した旅の時間を満喫しよう。





台南市北區成功路 28 號　☎ 06-222-2188
www.grandbanyanhotel.com







台南
2021.06
開業

捷絲旅台南十鼓館
Just Sleep Ten-Drum

台湾最大級のホテルグループ「シルクスホテルグループ」のデザインホテルブランド「Just Sleep」が台南に登場。十鼓仁糖文創園区と奇美博物館に隣接しており、歴史やアートを楽しみたい旅人ならぜひ泊まってみたいホテルだ。高速鉄道台南駅まで車で15分、有名観光地が集まる台南市中心街までは車で20分、さらに高速道路へのアクセスもよく、どこへ行くにも便利な立地も魅力。全129室の客室はグレーとブラウンを基調としたモダンなインテリアで、壁に掛けられたカラフルなアートが遊び心を添えている。窓の外には周辺の公園の緑が広がりリラックスした雰囲気だ。2段ベッドの4人部屋やファミリールームなどを用意しており、人数に応じた部屋選びが可能。朝や夕方には屋外プールでゆったり過ごすのも気持ちがいい。1階レストラン「Just Café 捷食藝」の朝食ビュッフェは多様な台南名物料理も人気だ。ホテルには会議室やコインランドリーもあり、ホスピタリティに溢れたスタッフが、ビジネスから観光、個人の長期滞在まで、多様なゲストの旅を力強くサポートしてくれる。



台南市仁德區文華路二段 300 號　☎ 06-266-0568　www.justsleephotels.com/ten-drum/jp







高雄
2020.12
開業

高雄萬豪酒店
Koahsiung Marriott Hotel

世界的ホテルブランド「マリオット・インターナショナル」傘下の高級ホテル。高雄国際空港と高速鉄道左營駅から車で約20分、MRT凹子底駅とLRT愛河之心駅まで徒歩5分と交通至便でありながら、愛河沿いの公園に隣接しているため、緑の潤いに溢れた環境でリラックスした時間も満喫できる。客室は高雄最多の700室を備え、全室が46㎡以上とゆとりのある広さ。屋内プール、SPA、フィットネスをはじめ、10店のレストラン、チャペル、宴会場などのレストランと館内施設も充実。国際ブランドならではのホスピタリティあふれるサービスが心地よいホテルだ。





高雄市鼓山區龍德新路 222 號　☎ 07-559-9111　www.khhmarriott.com



宜蘭
2021.05
開業

了了礁溪
VIVIR JiaoXi

「美人の湯」として知られる宜蘭県の温泉郷「礁溪温泉」に開業したデザインホテル。禅とアートがテーマのホテルの外観は鳥の巣のよう。橋を渡り地下1階のロビーに足を踏み入れると、アート展示空間「sunis」に出迎えられる。1階のレストラン「HABITAT」は洞窟のような雰囲気で、大きな窓から差し込む陽の光と緑の影に癒される空間だ。全31室の客室は、建築家が宜蘭の大地と自然に着想を得て設計した7タイプのコンセプトルームを用意。モダンでありながら落ち着いた空間の客室で温泉に浸かり、都会の生活の疲れを癒して素の自分を取り戻そう。

宜蘭縣礁溪鄉公園路 70 巷 30 號　☎ 03-987-1111　www.vivir.com.tw







茶館

Teahouse in Taipei

「茶館」は、中華圏で「茶芸館」や「茶楼」とも呼ばれる、茶や軽食を出すティーハウス。台北では昔ながらのレトロな店から気軽なカフェ風の店まで、幅広いタイプの茶館を訪ねることができる。癒しの時間と最高の台湾茶を満喫しに、台北の茶館に出かけよう。

企画構成／高田雅子 文／高田雅子 写真／陳正國 一季子弘 宋育玫

琥泊茶苑
Liquide Ambré



公園に面したコンクリート打ち放しの建物の2階にある隠れ家的茶館。店舗に通じる階段は濡れているように見えるため、思わず立ち止まってしまう。この階段の設計には店側の「繁華な街からやってきたゲストに、ゆっくりと階段を上がることで、心を落ち着かせてほしい」という願いが込められている。階段を上り2階の店舗に足を踏み入れると、琥珀色に輝くバーカウンターに出迎えられる。窓の外には公園の緑が広がり、照明を抑えた店内には、深い森の湖のほとりのような静謐な空気が漂う。店内の座席はカウンターの6席のみ。中央にスタッフがバーテンダーのように座り、茶葉の個性にあわせて茶器を選び、美しい所作で丁寧にお茶を淹れてくれる。お茶請けは、綜合手工麺包（特製パンの盛り合わせ）、手工花生豆腐（ピーナッツ豆腐）、琥泊季節茶點（季節のスイーツ）など、茶葉の繊細な味わいに影響しないように甘さ控えめのものを用意。台湾茶とお酒を合わせたティーカクテルも提供するほか、茶葉、茶器、食器なども販売している。台湾茶の新しい楽しみ方に出逢えるモダンな空間だ。



最中 Monaka





台北市大安區樂利路 72 巷 15 號 2F　☎ 02-2736-7287
店舗 12:00-19:00、茶席 14:00-15:30・16:00-17:30、月曜・火曜定休
ミニマムチャージ：1 人ドリンク 1 杯／席利用：90 分
facebook.com/LiquideAmbre　MRT 六張犁駅から徒歩 5 分
※座席数が少ないため事前予約をおすすめ





無事生活
活版印刷小茶館

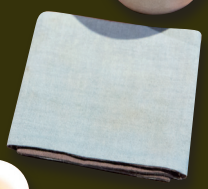


茶芸と活版印刷、展覧会、文化体験を融合させた個性的な茶館。活版印刷一筋に従事してきた呉さんと彼の3人の娘が2015年に共同で開いた店で、店名の「無事」は一家の姓「呉氏（ウーシー）」の発音に由来する。古琴を奏で禅を語る長女、茶芸と茶器を愛する次女、生け花に秀でた三女の三姉妹が、それぞれの専門を活かし、心と身体を落ち着かせてお茶を飲み、花を愛でる、癒しの空間を作り上げている。店内は茶器や絵画がディスプレイされ、ギャラリーのような雰囲気。地下のイベントスペースでは、不定期で生け花教室や展覧会なども開催している。提供するお茶は有機栽培または自然農法で栽培された台湾茶が中心で、茶葉や茶器も販売している。お茶は自分で淹れることもできるが、はじめは店のスタッフに任せて淹れ方を教えてもらうと安心だ。











- 台北市信義區吳興街 461 號
- ☎ 02-2720-5070
- 13:00-20:00、月曜・火曜定休
- 要予約／ミニマムチャージ：1 人 NT500
- facebook.com/caketrees.flower
- MRT 象山駅から徒歩 15 分



永心鳳茶 新光南西店

高雄発祥の人気茶館。MRT中山駅前のデパート「新光三越南西店」内にあるため、ショッピングの合間に気軽に立ち寄れる。店内のカウンターの壁一面に茶缶が並べられた様子は、伝統的な茶葉店のよう。レトロモダンなインテリアの客席も居心地が良い。おすすめは、阿里山烏龍茶や花蓮蜜香紅茶などの店が厳選した台湾茶と、台湾の食材と台湾茶を組み合わせたスイーツ。台湾茶の豊かな風味と台湾茶スイーツの組み合わせが至福の時間を運んできてくれるだろう。



紅玉紅茶乳酪蛋糕



阿薩姆巧克力捲







紅烏龍焦糖千層

- 台北市南京西路 15 號 3F（新光三越南西店三館）
- ☎ 02-2581-9909
- 11:00-21:30、金曜・土曜 11:00-22:00
- ミニマムチャージ：1人1品またはドリンク1杯
- facebook.com/yonshintea
- MRT 中山駅から徒歩 1 分

太台本屋 tai-tai books vol. 01

本からはじまる台湾旅 建築

建物がつなぐ歴史と人の物語。

複雑な歴史を歩む台湾の建築は、原住民族、十七世紀のオランダ時代、清時代、一八九五年から五十年続いた日本統治時代、そして戦後の国民党政権時代と、時代や場所によって様式に違いがあります。それは、建築を見れば時代や歴史がわかる、ということでもあります。

一級建築士の渡邉義孝さんが日本時代の建築に注目し、台湾全土を訪ね歩き、ディテールや実測など詳細なカラーイラストとともにフィールドノートにまとめたのが『台湾日式建築』です。「日式建築」とは、日本時代に建てられた洋風・和風または折衷様式など、意匠的・技術的に日本をルーツとする建築群と渡邉さんは定義します。

本書の醍醐味は、なんといっても建物のスケッチと見方を指南してくれる専門的な解説です。そして、取材の過程で出会った人たちとの似顔絵付きのエピソードから、台湾の激動の歴史が浮かび上がってきます。

本文に度々登場する「友人たち」とは、渡邉さんがWEB上で立ち上げた、誰でも書き込み自由の「日式建築MAP」への情報提供者のことで、各地の建物保存にかかわる人たちと交流を深めていきます。基隆の取材では、たとえ「ちっぽけな住宅」でも建物を残そうとする人がいることで、「（二・二八事件の）語られなかった言葉が語られ始め」「見えなかった街の記憶が可視化される」と、建物保存の違った可能性を見出します。

渡邉さんの「友人たち」の一組が、台湾のレトロ建築愛好家ユニットの「老屋顔」です。彼らもまた、「リノベーション建築」「鉄窓花」「マジョリカタイル」「人造石」など建物の来歴やディテールに込められた思いを、家主や職人への取材で紐解いていきます。●

（店員N・田中紀子）

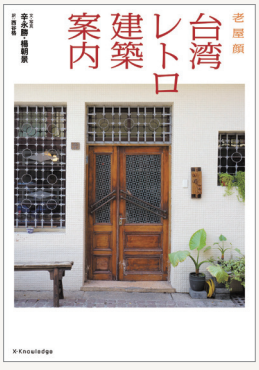
台湾日式建築紀行



渡邉義孝／KADOKAWA／
2022年11月発売／2970円

フィールドノートには、手書き地図のほか乗車切符やレストランカードなどが貼られ、旅の手帖の参考にもなる。

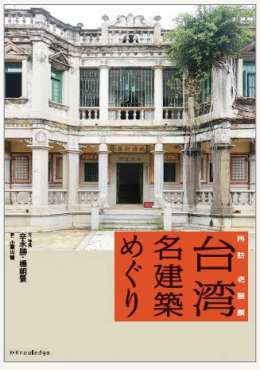
台湾レトロ建築案内



老屋顔（辛永勝・楊朝景）、西谷格 訳／
エクスナレッジ／2018年1月発売／1760円

台北の紀州庵、台南の林百貨店、高雄の書店喫茶一二三亭など、近年、リノベーションで再生した建物を紹介。

台湾名建築めぐり



老屋顔（辛永勝・楊朝景）、小栗山智 訳／
エクスナレッジ／2019年3月発売／1760円

金門島、澎湖島などの離島に残る名建築案内のほか、装飾ブロックやモザイクタイルなどの職人の工房を訪ねる。

太台本屋 tai-tai books とは

日本で唯一の「台湾の作家と作品専門の版権エージェント」兼「日本に台湾の本を広める活動をしているユニット」。メンバーが実際に読んで「良い」と思った台湾作品を日本の出版社に売り込み、その面白さを日本の読者に紹介するための情報発信を行う。本コラムでは、太台本屋 tai-tai books が版権を紹介した本「太台好書」を中心に紹介します。

新北市

淡水

レトロ建築散歩

17世紀から日本時代初期にかけて、台湾海峡に面した淡水河の河口部は貿易の要衝として発展。沿岸には官公庁や貿易会社の商館が並び、街は繁栄を極めた。淡水河の水位上昇とともに港は衰退したが、現在も数多くの美しい歴史的建造物の姿を見ることができる。淡水でレトロ建築を訪ね、350年の歴史ロマンを感じよう！







得忌利士洋行

清代から日本時代初期にかけての淡水河は、大型船が停泊できるほど水深が深い貿易港だった。当時、外国人が経営する「洋行」と呼ばれる商社が国際貿易の担い手として活躍し、淡水には德記、和記、怡記、道格拉斯、寶順の五大洋行が商館を構えていた。このうち水運を主な業務とする「道格拉斯（ダグラス）洋行」は30年にわたり台湾航路を独占するほどの大商社だった。「得忌利士洋行」はダグラス洋行の跡地。前棟の「第一検査場」と後棟の「輸入品倉庫」が現存しており、それぞれリノベーションを経て資料館に生まれ変わっている。清代末期から淡水を見守ってきた洋行建築で、淡水の海運発展の歴史を学びたい。



新北市淡水區中正路 316 號　☎ 02-2629-9522　入館無料　www.tshs.ntpc.gov.tw
9:30-17:00、土曜・日曜 9:30-18:00、月曜（祝日の場合は翌日休館）・旧暦大晦日・旧暦元旦休館





齊柏林空間

2019年に得忌利士洋行の後棟にオープンした「齊柏林空間」は、ドキュメンタリー映画監督の齊柏林氏の作品や業績を紹介する資料館。齊監督の代表作は日本でも公開されたドキュメンタリー『看見台湾（邦題：天空からの招待状）』。カメラマンでもある齊監督は、空中から台湾各地の美しい風景とともに、環境破壊のリアルな現状を撮影し、映画は台湾の人々の環境意識を高めることに成功した。齊監督は2017年に『看見台湾Ⅱ』の制作中にヘリコプターの事故で亡くなったが、彼が長年撮影し続けた膨大な量の台湾の風景を記録した写真や動画は、いまも圧倒的な熱量をもって見る人の胸に迫ってくる。

新北市淡水區中正路 316-1 號　☎ 02-2629-1996
NT$120　www.chipolin.org
10:00-18:00（最終入場 17:00）、火曜休館（祝日の場合は翌日休館）






馬偕故居


姑娘楼





真理大学

台湾で現在も「馬偕博士」と呼ばれ親しまれているジョージ・Ｌ・マッケイ博士は、1871年にカナダ長老派教会の宣教師として渡台。1872年より淡水で宣教を始め、宣教活動と医療活動に貢献する傍ら、1882年に淡水に台湾北部で初となる西洋式教育を行う学校「牛津学堂（Tamsui Oxford College）」を創設した。この牛津学堂が現在の真理大学の前身だ。キャンパス内の「馬偕故居」は1875年に建てられた博士の自宅跡。白い壁とアーチ型回廊が特徴的なコロニアル建築で、庭園から淡水河と観音山の風景が一望できる。隣接する「姑娘楼」は1906年の建設。「姑娘（Miss）」とは外国人女性宣教師に対する敬称で、赤レンガの外壁と回廊をもつ優美な建物の最初の住人が2人の女性宣教師だったことから「姑娘楼」と呼ばれるようになった。キャンパス内でひときわ存在感を放つ「大礼拝堂」は、ゴシック様式の聖堂。1997年に建てられた新しい建物だが、伝統的な設計が用いられており、非常に荘厳で美しい。マッケイ博士が愛した学び舎を歩き、140年の歴史に想いを馳せてみよう。

新北市淡水區真理街 32 號　☎ 02-2621-2121
8:00-17:00、土曜・日曜・祝日休館　入館無料
www.au.edu.tw/index.php
※大学の授業がある日のみ開放。訪問時は静かにマナーを守って参観しよう。



Google Map


大礼拝堂



小白宮



350年あまりの歴史のなかで、スペイン・オランダ・清・日本に統治されてきた淡水には、各時代の官公庁関連の歴史建築が数多く残っている。真理大学の東に隣接する「小白宮（前清淡水関税務司官邸）」は、1862年に清朝が淡水を正式に開港したのち、税務司官邸として建てた建物。「馬偕故居」とよく似た白亜の壁とアーチが並ぶ回廊を持つ典型的なコロニアル建築で、白い壁とオレンジ色の屋根が庭の緑に映えて非常に美しい。ロマンチックな雰囲気から、ウェディングフォトの人気撮影スポットとなっている。



新北市淡水區真理街 15 號
9:30-17:00、土曜・日曜 9:30-18:00、毎月第 1 月曜休館（祝日の場合は翌日休館）
NT$80（当日入場券で紅毛城、小白宮、滬尾砲台への入場観覧が可能）
jp.tshs.ntpc.gov.tw



英国領事官邸



紅毛城

真理大学の西隣に位置する「紅毛城」では異なる様式の2棟の建物を見学できる。敷地内に入って最初に見えてくる赤レンガ色をした建物は、スペイン人が建設したのちにオランダ人が改築した「安東尼堡（アントニー要塞）」。地下牢をもつ軍事施設で、庭には大砲も残されている。東側の建物は、後年イギリス人が建設した「英国領事官邸」。赤レンガ造りの優美なコロニアル建築で、館内には骨董家具が置かれており、往時の生活の様子が感じられる。



安東尼堡

新北市淡水區中正路 28 巷 1 號　jp.tshs.ntpc.gov.tw
9:30-17:00、土曜・日曜 9:30-18:00、毎月第 1 月曜休館（祝日の場合は翌日休館）
NT$80（当日入場券で紅毛城、小白宮、滬尾砲台への入場観覧が可能）

淡水海関碼頭



紅毛城向かいの淡水河岸に佇む「淡水海関碼頭」には、淡水港の埠頭と洋館1棟、港務倉庫2棟など、清代と日本時代に活躍した税関関連の建築物が残っている。200mの埠頭は3つに分かれており、河岸の歩道から観音石と唄哩岸岩を交互に組み合わせた精巧な構造が確認できる。リノベーションされた赤レンガ倉庫は文化施設となっており、不定期でアートや文化関連の展覧会を開催している。河口に沈む夕日を眺めるのにも最適のスポットだ。

新北市淡水區中正路 259 號　入園無料
9:30-19:30、毎月第 1 月曜休館（祝日の場合は翌日休館）
jp.tshs.ntpc.gov.tw

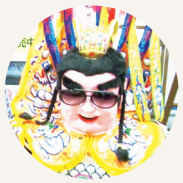




台灣の光

vol. 55

「難得機會多吃一點」



胖太子（ぱんたいず）

仕事で台湾を訪れるうちに、いつしか仕事を忘れて台湾を訪れるようになった日本人。最近は季節に1回どころか月に1回台湾を訪れないと発作が起きる。外見は「電音三太子」にそっくりとかなんとか…。

待ちに待っていた日がやってきました。2022年10月13日、ようやく台湾にビザなしで渡航ができるようになりました。遅れること約3週間、11月に入って私もようやく台湾を訪れることができました。いつも満席近い羽田便の搭乗率が3割程度、空港で抗原検査キットを配られて、2日に1回の検査を求められること（注）など、いつもとは少し違う訪台でしたが、街角のゴミ収集車から流れる「乙女の祈り」を聞きながら、なにはともあれ台湾に帰ってこられたことに私は感慨ひとしおでした。

台北の街並みは、松山空港に着陸する飛行機から見るとそれほど変わっていないように思えましたが、バスに乗り、歩きながら町をうろうろすると、馴染みの店がなくなってしまったり、いくつかの老舗ホテルの営業が終わってしまったりと、コロナの影響の大きさを感じるところも多くありました。

中でも私が一番大きく変わったなと思ったのは、初日の夕食で熱炒（台湾式居酒屋）を訪れた際に、コロナ前は忙しくホールを駆け回っていたビールを勧めてくるお姉さんがぼんやりするくらい飲食店がすいていたことです。訪問当時台湾では1日約2万人の感染者が出ていましたので、以前ほどではないもののコロナへの恐怖感がまだ強いのかもしれませんし、国境が解放されたばかりで、外国人観光客などがまだ戻っていないこともあるかもしれません。そして、飲食店に押し寄せる人波に代わって町に現れたのが「外送服務（デリバリーサービス）」と呼ばれるサービスのバイクと配達員さんです。レストランから依頼主のもとへ行き交う車をすり抜けてバイクで懸命に急ぐその姿は、日本もそうかもしれませんが、台湾のこの2～3年の世相を映しているようでした。

個人的には、お店で仲間とにぎやかにワイワイやりながら食べる方が好きなので、現状が少し寂しくはあったのですが、お店側も販路の拡大につながりますし、利用者側にとっても、時間がないときにお店に並ばずに済むとか、いつものお店の味をホテルの部屋や友人の家で親しい人と気のおけない時間を過ごすといったことが選択肢に加わったと思えば、それはそれで悪くないのかもしれません。台湾の食文化も、大変な時期を経て、新たに進化の時を迎えようとしているのでしょう。

その一方、台湾の食文化で全く変わっていないこともありました。それは、お腹がいっぱいになって箸を休めていると、決まってもてなし好きの友人達から受ける「難得機會多吃一點（滅多にない機会だからもっと食べなよ）」攻撃です。3年ぶりの攻撃を受け、私の胃腸は悲鳴をあげましたが、不思議と心が満たされ、とても幸せな気持ちになりました。「難得機會多吃一點」…いつもは何とも思わない言葉でしたが、改めて親友たちと時間を共有し、食卓を囲む時間のありがたさ、幸せをかみしめて味わった今回の訪台でした。

（注）本稿については、2022年11月に私が台湾を訪れた時点での体験に基づき記述しています。社会情勢等により渡航環境は変化しますので、最新の情報を確認したうえで渡航をお願いします。



台湾で最大手のデリバリーサービス「Food Panda」のバイク

vol. 41

台湾行きっ戻りっ

サルからの警告？ てくてく歩きで遭遇 知らぬ間に野生の領域へ

文・写真
松田良孝
（まつだ　よしたか）



1969年、さいたま市生まれ。北海道大学農学部農業経済学科卒。八重山毎日新聞記者などを経て、現在はフリー。石垣島など沖縄県と台湾の関係を中心に取材を続ける。著書の『八重山の台湾人』（南山舎、2004年）は、2012年に『八重山的台湾人』として中国語訳され、行人文化実験室（台北）から出版。共著に『石垣島で台湾を歩く：もうひとつの沖縄ガイド』（沖縄タイムス社、2012年）。2014年には小説『インターフォン』で第40回新沖縄文学賞受賞。



徒歩旅行で遭遇したサル＝屏東県牡丹郷、2022年6月20日



私が歩いた道。路線バスは通っていない＝屏東県牡丹郷、2022年6月20日

カチッ、カチッ、カチッ。

車やバイクがたまに通るほかは、ほとんど往来のない海沿いの道を、私は一人で歩いていた。すると、何かを砕くような、折るような、甲高い音が聞こえてきた。

山間や海辺のエリアは、路線バスではアクセスしにくい場所も少なくない。タクシーを使う手もあるが、目的地までの道のりを楽しむ貴重な時間をショートカットしているようで、気が進まない（台湾のタクシーに乗りたくないということではなく、あくまで旅を楽しむための私なりのポリシーとしてのこと）。それで歩くことにしたのが、屏東県の牡丹郷と満州郷を結ぶ約10キロの道のりである。

頭上の太陽をさえぎるものはなく、青空が濃い。ひと気のないまぶしい道のすぐ脇から「カチッ、カチッ」という聞き慣れない音が耳に届くのは、あまり気持ちのいいものではない。

足を止めると、枝の隙間の向こうに視線を感じた。何かが動いている。小さな人のような生き物。サルだった。枝を伝い、せわしなく動いている。そうかと思うと、別のサルの顔がのぞく。入れ代わり立ち代わり凝視され、私はまったく落ち着かない。

台湾でサルを間近で目にしたのは2度目である。最初は15年ほどの前のこと。台東県成功鎮に泰源トンネル（小馬トンネル）という場所があるのをご存じだろうか。台東県政府が歴史建築に指定しているもので、台湾政府文化部文化資産局のウエブサイトで確認すると、アミ族の人たちを動員して掘らせ、1932年に完成したとのことである。地元の方が運転する自動車でトンネルをくぐり抜け、馬武渓という川が流れる谷沿いの道に差し掛かると、サルがいた。橋の欄干だったか、ガードレールだったか。そのへんの記憶はあいまいだが、余裕で座っている面影を頭の片隅に覚えている。車のなかにいる私たちのことなんて、まるで相手にしていないような。

しかし、今回は違う。その所作はいかにも野生である。温泉であったまりながら、湯気にほんわか包まれているサルの姿をテレビのニュース映像で時たま見かけるが、そんなイメージとは対極にある厳しさだ。必死さといってもいい。

歩いて行き来するような人間はこの辺りではほとんどいないのであろう。サルたちは「立ち止まるな、さっさと去れ」と警告していたのか。私は知らぬ間にサルの領域に近付きすぎたらしい。もし、やり合っていたら、多勢に無勢だったかもしれない。今になって少しだけ身震いしそうになった。

表一、2022-2021年国民出国者数月別統計比較表

月份	2022年(単位：人)	2021年(単位：人)	比較増減(%)
1	25,925	20,969	23.63
2	59,362	36,861	61.04
3	44,089	34,733	26.94
4	40,676	26,318	54.56
5	45,602	24,495	86.17
6	66,870	37,120	80.15
7	102,395	36,951	177.11
8	128,811	39,423	226.74
9	126,864	28,132	350.96
10	172,319	25,928	564.61
小計	812,913	310,930	161.45
11		22,401	
12		26,646	
合計		359,977	

2022 JAN-OCT 出入国人数統計

訪台旅客総数：420,725 **(259.51%)**

外国人旅客数：383,097 **(308.99%)**

(うち日本人旅客数)：32,218 **(280.15%)**

僑民旅客数：　37,628 **(61.11%)**

出国者人数：　812,913 **(161.45%)**

※(　) 内は昨年同期比

表二、2022-2021年訪台旅客月別統計比較表(居住地別)

	2022年(単位：人)				2021年(単位：人)				比較増減(%)		
月別	合計(A)	僑民(C)	外国人(E)	毎日平均人数	合計(B)	僑民(D)	外国人(F)	毎日平均人数	合計(A/B)	僑民(C/D)	外国人(E/F)
1	7,639	1,866	5,773	246	14,794	2,615	12,179	477	-48.36	-28.64	-52.60
2	11,556	2,587	8,969	412	12,674	1,341	11,333	452	-8.82	92.92	-20.86
3	20,036	2,210	17,826	646	18,406	2,315	16,091	593	8.86	-4.54	10.78
4	29,760	1,675	28,085	992	17,843	1,958	15,885	594	66.79	-14.45	76.80
5	32,466	1,837	30,629	1,047	10,719	1,557	9,162	345	202.88	17.98	234.30
6	38,454	3,208	35,246	1,281	2,779	914	1,865	92	1283.74	250.98	1789.87
7	49,991	4,518	45,473	1,612	5,480	1,398	4,082	176	812.24	223.18	1013.99
8	69,299	6,609	62,690	2,235	7,960	2,322	5,638	256	770.59	184.63	1011.92
9	68,318	6,915	61,403	2,277	12,264	5,357	6,907	408	457.06	29.08	789.00
10	93,206	6,203	87,003	3,006	14,107	3,579	10,528	455	560.71	73.32	726.40
小計	420,725	37,628	383,097	1,383	117,026	23,356	93,670	384	259.51	61.11	308.99
11					13,461	2,186	11,275	448			
12					9,992	2,527	7,465	322			
合計					140,479	28,069	112,410	384			

表三、2022-2021年日本旅客月別動態比較表(居住地別)

	2022年		比　較	2021年	
月別	人　数	毎日平均人数	増減(%)	人　数	毎日平均人数
1	825	26	-22.90	1,070	34
2	1,116	39	3.72	1,076	38
3	1,281	41	31.93	971	31
4	1,758	58	52.74	1,151	38
5	1,670	53	122.07	752	24
6	1,475	49	660.31	194	6
7	3,210	103	762.90	372	12
8	5,635	181	477.36	976	31
9	5,623	187	562.31	849	28
10	9,625	310	804.61	1,064	34
小計	32,218	105	280.15	8,475	27
11				847	28
12				734	23
合計				10,056	27

表四、2022-2021国民訪日月別動態比較表

	2022年		比　較	2021年	
月別	人　数	毎日平均人数	増減(%)	人　数	毎日平均人数
1	1,378	44	31.61	1,047	33
2	1,491	53	49.04	878	31
3	3,703	119	204.27	1,217	39
4	3,710	123	293.43	943	31
5	2,831	91	216.31	895	28
6	4,092	136	205.83	1,338	44
7	6,339	204	271.35	1,707	55
8	8,523	274	533.68	1,345	43
9	9,052	301	787.45	1,020	34
10	36,880	1,189	2952.98	1,208	38
小計	77,999	256	572.52	11,598	45
11				1,167	38
12				1,284	41
合計				14,049	38

HOT! STAY / EAT / BUY

HOTEL 台北

台北圓山大飯店
「東側の秘密のトンネル」50 年ぶりに公開





台北圓山大飯店は 1970 年に宮殿式をメインにした建築。建設時にホテルの東側と西側に 2 本の秘密トンネルが造られた。このトンネルは蒋介石総統のための緊急避難用通路で、このような設計を持つ国際ホテルは世界でも台北圓山大飯店だけだ。2019 年に西側のトンネルが公開され、神秘的な歴史遺産を見ようと多くの見学者が訪れた。2021 年には東側のトンネルが公開され、トンネルの出口は日本時代の神社の所在地だった秘密の花図と通じている。敷地内にたつホテル初代社長・孔令偉女史の旧宅では関連文物の展示を行っており、重要文化歴史遺産を完全な形で見学できる。

ガイドツアー：
毎日 9:30、10:30、11:00、14:30、16:00
ガイド付きプラン予約受付 02-2886-1818 内線 1818

台北圓山大飯店（タイペイグランドホテル）
台北市中山區中山北路四段 1 號
Tel: 02-2886-8888
Fax: 02-2885-2885
www.grand-hotel.org

FOOD 台北

小籠包・餃子・点心 京鼎楼
台湾グルメの王道・秘伝の小籠包



中山北路、林森北路に隣接する、日本人に知られた小籠包の名店。熟練の技術から生み出される伝統的な小籠包は、繊細な皮の中に旨みたっぷりの熱々スープが包み込まれている。創作メニューにも力を入れており、とくに烏龍茶を皮に練り込んだ小籠包が好評だ。技術に忠実に、伝統の味を守り続けている京鼎楼では、秘伝の技に出逢うことができる。訪れた人だけがわかる美味さの違いを堪能しよう。

京鼎楼
台北市中山區長春路 47 號
Tel: 02-2523-6639
jin-din-rou.net/taiwan
Open: 11:00~14:30
17:00~22:00
月曜定休

TOUR 台東

紅葉谷緑能温泉園区
温泉、美食、観光を楽しむ休日





この冬、台東県の温泉リゾートパーク「紅葉谷緑能温泉園区」では、民宿「比砂麓」の宿泊とパーク入場券を組み合わせた特別プラン「紅谷小行星 121 套餐」を販売する。比砂麓は流水の風情溢れる客室と台湾原住民布農族（ブヌン族）の文化体験にオーナーの情熱が感じられる民宿。毎週末ごとに開催される 6 つの体験イベントも見逃せない。紅葉温泉の美しさに触れながら、台湾原住民族の特性ドリンクを味わい、少年野球記念館を参観し、紅葉村の旅を締めくくろう。

紅葉谷緑能温泉園区
台東縣延平鄉紅葉村紅谷路 121 號
Tel: 089-561-068
www.vakangan.com

TOUR 台南

西拉雅国家風景区
サイクリングで気軽に楽しむ水路の風景





台南東部の山麓に位置する「西拉雅国家風景区」のエリア内には烏山頭水庫風景区、関子嶺風景区、曾文水庫などの著名な風景が集まっている。西拉雅国家風景区管理処は、官田ビジターセンターと八田與一紀念園区内に設立された電動アシスト自転車の貸出所の 2 か所。A 地点で借りて B 地点で返却が可能なレンタル方式を採用しており、ゲストは気軽に烏山頭水庫のダムの風景や曾文渓の美しい水辺の風景を楽しみながら、嘉南大圳の歴史文化と発展に触れることができる。

西拉雅国家風景区管理処
台南市官田區福田路 99 號
Tel: 06-690-0399
www.siraya-nsa.gov.tw/zh-tw

FOOD 台南

蔦町和菓子
視覚と味覚の饗宴





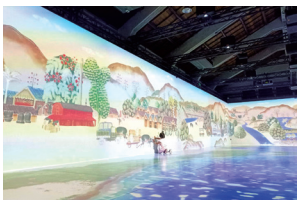
「蔦町和菓子」は、台南市の「烏山頭水庫（烏山頭ダム）」の傍ら、「八田與一紀念園区」の日本式木造宿舎に店を構える和菓子店。本格的な和菓子と抹茶を提供する店舗は日本の茶屋の風情に溢れている。東京の和菓子職人・中澤氏に和菓子製造の技術を学んだオーナーの邱氏は、原材料の調合から菓子の完成まですべて手作業にこだわっている。優美な空間で味わう繊細な和菓子の美しさは、視覚と味覚の饗宴だ。館内では、和菓子 DIY や茶道体験、浴衣体験も提供している。予約制（水曜定休）。

蔦町和菓子
台南市官田區嘉南里 66 號 (八田與一紀念園区 - 赤堀宅)
Tel: 0939-937-037
bit.ly/3FsNpR4

TOUR 台南

隆田CHA CHA文化資産教育園区
台湾最大の没入体験型劇場





「隆田 CHA CHA 文化資産教育園区」は、台南市の台湾鉄道隆田駅そばに位置する文化施設。園内は 3 つの展覧エリアに分かれており、農水施設「嘉南大圳（かなんたいしゅう）」の成り立ちから着想を得た没入型のランドスケープシアター、マルチメディアを駆使したインタラクティブゲームなどを通して、ゲストに歴史探索の楽しみを提供。元の考古センターと文化的遺物の収集空間を統合し、さらにトロッコ列車「五分車」のレール、台貫室の遺構、歴史建築・台塩隆田儲運駅と倉庫群を含む 4 つの産業遺産を保存しており、鉄道と考古学、用水文化を兼ね備えた文化施設となっている。

隆田 CHA CHA 文化資産教育園区
台南市官田區新生街 43 號
Tel: 06-579-1377
chacha.tainan.gov.tw

Advertisement

Just Sleep
TAINAN・TEN-DRUM

捷絲旅台南十鼓館

Just Sleep Ten-Drum

レトロ&ラグジュアリーな新スタンダード

捷絲旅台南十鼓館は、十鼓仁糖文創園区、奇美博物館、虎山林場、三井アウトレットパーク 台南に近接する、自然・文化・商業の多様な分野が融合したホテル。館内の随所にノスタルジックな製糖工場や太鼓の要素がちりばめられ、高速鉄道台南駅や台南市中心街までは車でわずか 15 分と交通至便な立地も魅力です。都会に近く静かな桃源郷で、台南の美しさをご堪能ください。

多彩な客室タイプであらゆるゲストの要望に対応

豪華な施設と美食の饗宴







捷絲旅台南十鼓館
JustSleep Tainan Ten-Drum

台南市仁徳区文華路二段 300 号 | +886-6-266-0568